

市民が主人公の街・春日井を！

2011年1月

私はリタイア後、この4年間「市政ウォッチング」を290回以上続け、議会と行政を見続けてまいりました。驚いたことに、裕福と言われてきた春日井市の現状は「火の車」となっています。

市債残高は1853億円 一世帯当たり「212万円」の借金

「何故、こんな状態になったのか？」を問うた、市長への公開質問状(22.11.18)への回答(ブログで公表中)では、「昭和40年代からの人口急増期に学校、道路、市民病院、最終処分場等の整備が必要であった。又、平成13年度以降、国の交付税見直しにより財政対策債を発行したため」として、将来の市民負担については考えていなかったことを示し、**「行政や議会の責任」**については、頼かむりの姿勢です。

現行の「借金返済計画」は5年間で129億円を減らすというもので、「焼け石に水」です。

一方で、市民へのツケ回しが次々と続いています。

国保税値上げ、給食費の値上げ、水道料金の値上げが続き、

この4月からは水道料金の第2弾の値上げ9.6%が決定しています。

その前にやるべきことがあるのではないのでしょうか

◎ 市長給与等(一期4年で) → 9924万円

(内、退職金2444万円)

◎ 議員報酬 → 議長1042万円、議員865万円

市政ウォッチング (無党派・市民派) の

田代政弘(高座台 TEL・FAX 91-5029)は

ブログ「市民が主人公の街・春日井を目指そう」

(<http://blog.livedoor.jp/mabou0491>) で議会、市政の情報を発信中です